第31回国際堆積学会参加報告

山田昌樹^{1*}・鹿島美香²

A conference report on the 31st IAS Meeting of Sedimentology

Masaki Yamada^{1*} and Mika Kashima²

2015年6月22日(月)から25日(木)にかけて、ポーランドのクラクフにおいて International Association of Sedimentologists (IAS) の主催による「31st IAS Meeting of Sedimentology (IMS2015)」が開催された。IMS は、ヨーロッパのいずれかの国か地中海に面したアフリカの国で毎年行われている国際堆積学会(4年に1度は国際堆積学会議として世界規模の大会となる)であり、ポーランドで開催されたのは1986年の第7回クラクフ大会以来であった。ポーランドの古都であるクラクフの歴史的な街並みは、ユネスコの世界遺産にも登録されており、ヴァヴェル城や旧市街をはじめとした中世のたたずまいが広がっていた。クラクフ市街の中央広場にはレストランやショップが多く立ち並んでおり、若者や観光客で賑わっていた(写真1)。22日の夜には、ヴィスワ川沿いの Plaza で Icebreaker party が行われ、地質学者が集まって結成したジャズ&ロックバンド「Workaholic」による生演奏とともにビールやワインを飲みながら、参加者たちは会話を楽しんでいた。

本大会は、ヤギェウォ大学の Auditorium Maximum を会場として、3日間で約600件の口頭講演とポスター講演が行われた。受付では、大会のハンドブックとともにUSBメモリなどのグッズも手渡された。3日間とも大会場での Keynote lecture から始まり(写真2)、そのあとは合計7会場においてセッションごとの口頭講演が行われた。ポス

ターセッションは、午前と午後の2回(各45分間)に分かれており、コーヒープレイクに合わせる形で行われた(写真3)。午後の部では、ワインとベールが振る舞われたこともあり、より活発な議論が展開されていたように感じた。また、筆者らは参加していないが、大会前後には合計11コースの巡検と6つのショートコースが企画されていた。

本大会では、16の通常セッションと25の特別セッションが開催されたが、浅海底・深海底での堆積システムや沖積堆積物、崩積土、湖底堆積物の堆積システムに関するセッションの講演件数が多い傾向が見られた。また、昨年にスイスのジュネーヴで開催された第19回国際堆積学会議(ISC2014)に引き続き、炭酸塩関係のセッションも非常に賑わっている印象を受けた。日本ではあまり行われていない研究内容の講演を聴けるのはIMSの良いところである。

24日の夜には、ヴィエリチカ岩塩坑のパーティ会場 Gala dinner が開催された(写真4)。大会会場からヴィエリチカ岩塩坑までの道のりでは、バスガイドによるクラクフの歴史や文化の話を聞くことができた。約400段にも及ぶ階段とその先の坑道を進むと、地下約135mのパーティ会場へ到着した。11世紀に創業されたという歴史と坑夫たちが信仰のため彫った岩塩の彫刻に魅了された。コース料理のメインが運ばれる頃、クラコヴィアクと呼ばれる民族舞曲に合わせて、民族衣装を身にまとった舞踏家たちによるダンスが始まった。終盤には、参加者たちも互いに手を繋ぎ合い、ひとつの大きな輪になって踊った。

大会期間中のクラクフは時折小雨がぱらついたが、好天に恵まれて非常に過ごしやすい気候であった。中央広場周辺にはレストランも多く、物価も安かったため、食事に困ることはなかった。IAS Meeting of Sedimentology (IMS) はヨーロッパ諸国からの参加者が中心であるものの、近年ではアジア諸国やアメリカ、カナダなどの研究者や学生も多

受付: 2015年7月10日

¹ 筑波大学大学院生命環境科学研究科

Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

² 熊本大学大学院自然科学研究科

Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University

* Corresponding author: Masaki Yamada, yamada@geol.tsukuba.ac.jp

写真 1 クラクフの中央広場.

写真 3 ポスター会場.

写真 2 Keynote lecture が行われた大会場.

写真 4 Gala dinner の様子.

く参加している。今回、日本からは7名が参加したが、そのうち学生は2名であった。来年の第32回大会はモロッコのマラケシュで開催される予定である。是非、今年よりも多くの学生が積極的に参加されることを期待する。